

## 第56回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和3年8月25日（水） 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女会議室（八女市役所黒木支所2階）
- 3 出席者 出席者総数 8名  
委員総数 7名  
出席委員 6名 青木歳男 川口良和 古庄浩平  
吉武信博 白鳥隆之 野口紘平  
レポート提出委員 1名 酒井裕樹  
放送事業者側出席者 2名 高木祥平 中島直樹
- 4 議題 「がまだすワイド801」水曜日版  
7月21日（水）12:30～15:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。  
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 地域密着型情報番組
- 7 審議内容
  - ・パーソナリティ二人のテンションの差が気になったが、次第に馴染んでいった。噛んだり、言い間違いをしたりしたが、ローカル局のほどよい緩さで良いと思う。
  - ・「八女っちゃよかとかボイスリレー」はゲストがとても慣れているように感じた。東北在住の方だったが、距離が離れても繋がることのできるのの良いなと思った。
  - ・「ハッシュタグFM八女」はメッセージ投稿のハードルが下がり良いコーナーなので投稿数が増えると良いと思った。しかし、なんでもありの投稿になってしまわないかが懸念される。
  - ・「八女のロマン」のコーナーでは無言になる時間が多いのが気になった。電話でのゲスト出演という難しさはあると思うが、昼店の下調べをもっとしておく必要があったと思う。イグサの話題に最初はあまり興味が湧かなかったが、「イグサの青汁」など面白い話題があり、「まちのコイン」を使って飲むことのできるならやってみようかなと興味を持った。地域通貨である「まちのコイン（ロマン）」についての情報が少なかったので、「まちの

コインについては〇〇で検索してみてください」という程度でも説明があると丁寧ではないかと思った。

・「糸山浩美のありがとうを届けたくて」のコーナーは地味だが良い企画だった。ささいなことでもリスナーからのメッセージが聴いている人を穏やかな気持ちにさせると思った。

・地域リポーターは面積が広い八女市において非常な重要な役割を果たすと思った。1年前の提案を次年度に実行しているスピード感も素晴らしい。地域の出来事やイベントのことなど、その地域の方しか知らない情報や歴史を伝える面白いコーナーだと思う。

・「悠木シュンの背中押してやろうか」のコーナーは、まず悠木シュンさんが誰なのかの説明が必要だった。しかし、小説家の話を聞く機会は珍しく、話題も豊富で内容も面白かったので良いコーナーだと思う。

・全体を通じて、地域密着型で質の高い良い番組であった。前回審議した時にはゲストの電話出演時の音質が悪かったが、改善されていた。ゲストの出演場所などの外的要因も大きいと思うが技術的なものもあると感じた。「ボイスリレー」や「八女のロマン」、「地域リポーター」など似通っている部分もあったので、それぞれの特色を活かしたコーナーにしてほしい。上手く進まない部分もあったが、キャリアが短い二人でよく進行できていたと思う。

## 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

## 9 次回の番組審議委員会

日時 令和3年10月28日（木） 午後4時00分

場所 FM 八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------